ロジスティクス研究会
ファックス通信
題　字
第三代東ト協会長
浅井時郎氏
ロジ研ホームページ
http://www.ttal.jp

ひびき

Ｎｏ．３４０　／　２０２５年４月２５日 発行

（一社）東京都トラック協会
ロジ研発行
編集人　菅沼寛二
東京都新宿区四谷３丁目１番８号
ＴＥＬ．０３－３３５９－４１３７
ＦＡＸ．０３－３３５９－６０２０

ロジ研 年間統一テーマ ： 先入観は可能を不可能にする

＊＊＊

◆『本年度の総会について』

副本部長・総務委員長　大島 弥一
〔新宿支部　大島運輸㈱〕

本年度のロジ研総会は６月６日(金)、明治記念館で開催することになりました。今までと違うところは青年部、女性部と同日で総会を行い、懇親会は合同開催というところです。

これまで各本部長は各組織の総会に来賓として招かれ、それぞれで祝辞を述べるという慣習でした。私も青年部本部長に任命して頂いた当時 39 歳の時は就任直後のロジ研総会、女性部総会での２度の祝辞は大変緊張したような記憶があるような、ないような・・・(;^_^A

その挨拶もそうですが１度で済むのは非常にありがたいと思います。また東ト協会長・副会長、各支部長にも来賓として各組織が案内を出していましたが、やはり三組織の総会すべてに参加というのは難しく、また〇〇〇には出ていたのに△△△には出ていないとか色々言われることもありました。

今回当初は青年部佐藤本部長、ロジ研吉本本部長が、「ある懇親会の席で一緒にやらない？」という話が出て進めていたところ、女性部も是非一緒にという事で今年の開催となりました。青年部とロジ研は同じ会場で時間をずらして開催しますので、時間的には相当タイトになるかもしれません。また改選期でない今年だから可能かもしれませんが、一度で済むことでのメリットも相当大きいので、是非一人でも多くの会員の皆さまにご参加いただき、ご意見を頂きたいと思います。

◆『運転者教育におけるｅラーニングについて』

副本部長・研修副委員長　相川 宏之
〔江戸川支部　相川運送㈲〕

江戸川支部・相川運送有限会社、相川でございます。

ロジスティクス研究会では研修副委員長をさせていただいておりますが、いつも前田委員長はじめ、委員会の皆様にはお世話になりっぱなしで、改めましてこの場をお借りして、感謝、御礼申し上げます。今回、ひびきの執筆を東ト協・運輸安全委員会終了後にお声がけされたことをきっかけに寄稿します。

東ト協本部主催の初任運転者講習などでは、新年度より新たにｅ ラーニングの導入が提案されることとなりました。運輸安全委員会では、２０２４年問題である罰則付き時間外労働の上限規制、拘束時間の上限規制によって生じた、教育の実施、教育にあてる時間や場所の問題など、さまざまな諸課題を検討することとなりました。今までは、対面式での座学研修などが多かったかと思いますが、近年はすでにｅラーニングを導入した運転者教育、初任教育を実施している会社様も少しずつ増えてきているように感じているところでした。

運輸安全委員会において、このｅラーニングの導入について検討すべく、小委員会の立ち上げがあり、そこで委員長に任命された事により対応させて頂きました。

約半年間で８社のｅラーニング提供会社様のヒアリングを複数回にわたり実施。同じような映像ばかりずっと見ていると、正直言って眠くなることもありましたが、そこはグッと我慢して気合いを入れて拝見させていただき、各社、説明や特長をお聞きしました。

スマホでもパソコンでの対面式でも対応出来る事業者など、各社各様でしたが、選定にあたり、気を付けるポイントとしまして、会員様にとって有益な事業者を選ぶことに心がけました。

対面形式での研修参加率減少、会員事業者からも以前よりｅラーニング導入の要望があった経緯を踏まえ、安全はすべてにおいて最優先、サービス・コスト・使用実績、会社の実際のドラレコ映像をもとに１ヶ月１本、事故防止の教育映像として作成してくれるサービスなど、提供してくれる事業者を選定し諮問させていただきました。

トラック時報や支部からのご案内も参考にして頂いて、ｅラーニング導入を検討している会社様にとって導入後に、「これいいね！」「導入してから事故が減ったよ！」「ドライバーさんの意識が変わったよ！」「教育担当者の負担が減ったよ！」「自社トラックがよく通る道のドラレコ映像だからＫＹＴ（危険予知）の参考になったよ！」などのお声が聞けたら選定を頑張った甲斐があります。

また法令遵守の観点からも事業用トラックドライバーが受ける１２項目を受講して、各社様が事故ゼロを目指して繁栄して頂ければ幸いです。

引き続き、ロジスティクス研究会研修でも頑張って参りますので、よろしくお願いいたします。

◆『2025 大阪・関西万博を訪ねて』

副本部長・広報委員長　菅沼 寛二
〔千代田支部　㈱スガヌマトランスポート〕

いよいよ開幕ということでＴＶやニュースなどでも取り上げられております大阪万博２０２５。私も、ほぼ予習無しの体でしたが参加して参りましたので以下、簡単にレポートさせて下さい。

【並ばない万博】今年初め頃の東京では話題にもあがらなかった今回の万博ですが、開幕時期の入場券が手頃なのを知って、4・13 開幕の翌々日、4・15 に入場を予約しました。
会期が近づくにつれて開館できないパビリオンが明らかになったりしましたが、予定日時に会場を訪ねることに。「並ばない万博」を目指しているだけあって、入場日の予約以外にも、パビリオンの入館予約など、要所要所に事前予約やＩＤの登録などがあって、これらはスマホで出来るのですが、これがけっこう面倒でした。
（※厳密には家族や友人でも団体行動が前提であればじつはひとりひとりの「万博ＩＤ」も不要なのですが、予約・登録についての説明が全般的に足りないかな。。）

【地下鉄・夢洲駅の様子】

駅（新設の地下鉄・夢洲駅）も混雑、パビリオンも激混み、との報道がありましたが、これは開幕日 11.9 万人の状況で、私が訪ねた日の入場者（来客）は 4.6 万人だそう。パビリオンで１時間超、並ぶ列も確かに見かけました（ちなみに、私はそれらをすべて入館辞退しました）が、混乱している様子ではありませんでした。テーマパークでもそうですが、万博も９時開場

＊＊

からの入場がおすすめです。おおむね１時間程まで待機すればお気に入りのパビリオンに入館できたように感じます。会場入場時のセキュリティ・チェックはたしかに混雑しておりました。列の解消具合には多少、差がみられたので注意してみると、どうやら空港よろしく手荷物検査を全量、実施しているのですが請負業者(警備業者)がゲート毎に違っていて、取扱いの巧拙が生じていたようです。

【いのち輝く未来社会のデザイン】来場者が５万～10万という人手の大半は関西圏から来られた日本のお父さんお母さん､お友達、家族連れでしたが外国人観光客や賓客(パビリオン関係の入場者は来客とは別に約２万人にのぼるそうです)も多い中、目立ったのが小中高の見学生徒(修学旅行者も)さん達でした。基本のテーマが個人や多様性の未来を主張しているので、青少年に触れてもらうことは主旨に適っているなと合点しました。

今回は残念ながら入館できなかったシグネチャー・パビリオンの展示にはなお関心が残りました。海外も 160 カ国も参加と「多様でありながらひとつ」というには、展示内容も多様過ぎて、会期が限られているものの、また訪ねたいと思わせる魅力・予感には溢れていました。実際、既に何度も足を運んでいる関西の方は多いようです。ただ、チケットの種類も多様過ぎたり、スマホが必須であるかのような既設のシステムに異論をはさむものではありませんが、それにしてもＨＰの作り方や発信方法には今後もう少し工夫されても良いのでは、と思いました。

【大屋根リング】ちなみに諸外国のパビリオンはこの大屋根リングの中に立地しています。リングを囲むように日本の企業や日本館などが。この大屋根リング、その大きさ・威容はやはり圧倒的でした。ここに上るだけでも万博に来た甲斐があります。

地上でも立地上、海風が強かった処、リング上はなおさら風が強かったです。会場や隣地のコンテナ・バースなども臨め、これが６ヶ月の限定展示という贅沢もありますが、圧倒かつ爽快でした。あまりに会場が広いので、移動手段にＥＶバスが巡回しています（有料）。

【立地など余談】場内は清潔でテーマパークと同様、清掃要員が多数、巡回しています。またボランティアや場内での予約システムにはアテンダントも居られるそうで彼らが何かと頼りになりそうです。隣地は大阪港・夢洲ＣＴ。２００９年開始の３バース一体運用のコンテナターミナルでした。もう一方の隣地が広大な空地でしたが、こちらは話題のＩＲ（カジノ）予定地。２０３０年開業を目指しているようです。

この夢洲に向かう途中にも京セラドームやＵＳＪもあったりと、ますますの展開で５年後にも、また違った景色が見えるエリアかも知れません。

ごく短期の滞在でしたが､大阪駅地下の飲食店も安価であったり、新大阪駅は外に出ればすぐに喫煙所があったり、エスカレーターは右側待機だし、電車も混雑はしているものの東京ほどギスギス度は高くない様子であったり中々に良い面もうかがい知れて、これも好感でした。

【追伸：万博記念館】そして大阪に来たのであれば、と万博記念公園も訪ねました。当時の規模で記念公園が残されていること、太陽の塔の姿に感銘を受けました。歴史展示にも圧倒です。当時も会期６ヶ月間にて入場者 6,400 万人強（外国客も 170 万人おられたそうです)。80 万人の入場者を数えた日もあったとのこと。今回の万博との比較は無用ですが、当時の熱気を伝える展示がコンパクトながら圧巻でした。

【追伸その２：TIPS】〇場内では現金は使用できません。〇風が意外と強いです。帽子などにご注意。〇入場時はスマホのＱＲコードが一般的ですがスクリーンショットでも入場できます。〇飲食店・みやげもの店も相応にあります。〇トイレも各所にあります（共用トイレが確認できませんでした)。〇推奨されていませんが乗用車で来ることも出来るそう（パーク＆ライド）。〇サウナ施設もあるようです。〇パビリオン各所にスタンプがあるのでスタンプ帳ご持参もおすすめです。

ミライ人間洗濯機
Human Wa

【ミライ人間洗濯機】

＜雑誌紹介＞

雑誌「東京人」3 月号『進化する「物流」』

人知れず閉店されるお店も多い東京の街中ですが、なんと駅前の書店も、この 4 月で閉店、との貼紙を見て神妙な気持ちで店頭で手に取ったのが東京人 3 月号。１つ２つ古いものですが「物流」と大上段なタイトルが目を引きました。

コンパクトな体裁ながら、字数がやたら多くて人を寄せ付けない威厳を放つ雑誌です(こんなに字数の多い雑誌だったかなぁ？)。でも 50 年前の汐留駅・空撮写真や羽田クロノゲート、足立区「運ぶクルマ」図鑑(荷馬車やオート三輪も！)、出版流通などなど、たしかに物流の大特集。写真資料も多くて、眺めてみるだけでも飽きない構成でした。

月間『東京人』2025 年 3 月号 特集：進化する「物流」
東京人編集室=編　2025 年 2 月 3 日発売／B5 版　1,051 円(税込)
発行：都市出版株式会社
※書店にてバックナンバー取寄せ可能とのこと。

ひびき編集人　菅沼寛二

ロジ研行事予定

- 5/29(木) ロジ研正副本部長･幹事合同会議（東ト総合会館）
- 6/ 6(金) ロジ研通常総会･懇親会（明治記念館）
- 6/12(木) ロジ研正副本部長会議（東ト総合会館）
- 6/12(木) ロジ研研修会（東ト総合会館）
- 8/ 6(水) ロジ研納涼会（明治記念館）